

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

循環器内科、心臓血管外科、糖尿病に関する勉強会の年間計画を作成し、予定通り勉強会を実施できた。対象者を全員日勤扱いにすることは難しく、医師の勉強会や業務量により時間外となることもあった。スライドの自動再生による動画研修を作成し、繰り返し視聴することで自己研鑽が可能となり知識の向上につながった。

2) 病院経営に参画する

病床利用率 74.9%であった。週末には利用率低下するため目標値は達成できなかった。当該診療科以外では16診療科の入院受け入れを実施し、空床ベッドの有効利用で昨年度より利用率が9%上昇した。また、有料個室、重症個室加算部屋ともに平均利用率 93.9%であった。目標達成できた。入院加算では、入院時退院支援加算漏れが2件あった。認知症ケア加算漏れはなかった。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する。

薬剤に関するインシデントは55件/年発生している。確認不足によるものが45件であった。また、転倒事例では3b事例が2件発生した。薬剤の重大インシデントでは、抗凝固薬の重複内服が生じた。事例分析を行い部署内で振り返りを行った。毎朝、同姓者の確認やフルネームを名乗ってもらい患者確認することを呼びかけ、患者誤認の発生はなかった。

4) 専門職として能力開発に努める

令和6年度糖尿病看護認定看護師教育課程を1名が受講し修了した。また、特定行為研修に1名が合格し、令和7年度受講予定である。糖尿病療養指導しに1名受講し、糖尿病療養指導士として認定された。次年度は、慢性心不全看護認定看護師課程へ1名が受験予定である。新人を含む11名が上位ラダーレベル(I 5名、II 5名、IV 1名)への申請し、11名がキャリアアップできた。

5) 質の高い看護職を確保する

岡山医療センター附属看護助産学校、山陽学園大学より臨地実習の受け入れを実施した。CEが中心となり、臨地実習の予定・指導を実施できた。学生が来る前に、実習目的や目標などの内容や対応についてスタッフに周知し、実習支援ができた。効果的な体験実習指導の実施で看護職員の確保に繋げる。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

PNS®において、年間ペアを設定しているが、新人看護師数も多く、常時ペアで業務することが困難であった。異なるペアの場合でも、お互いにコミュニケーションを図り、パートナーシップマインドを育成でき、看護の質の向上につながった。

2. 病床運営状況

表 1 令和 6 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数 (人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率 (%)	病床 稼働率 (%)
		新入院 患者数(人)	退院 患者数(人)				
48	循環器内科 心臓血管外科 代謝・内分泌内科	115.6	144.5	36.0	8.4	74.9	84.8

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人/年)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
3	93.9	7	93.9	16

3. 看護体制

表 2 令和 6 年度 看護体制(令和 6 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
31	PNS [®]	4:3

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 5 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 II

※2024.6 から急性期一般入院料 1 必要度区分 II とする

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		29.6	31.1	27.3	25.6	23.7	25.7	29.8	28.5	28.4	21.1	24.2	21.4

2)部署データ

表 4 心臓カテーテル検査・治療

	CAG・FAG	PCI	EVT	SG・PAG	BPA	その他
件数	250 件	90 件	38 件	199 件	33 件	48 件

〈心臓血管外科手術〉 手術件数 135 件/年

術式:CABG(開心術)、EVAR、静脈瘤血管内焼灼術、静脈瘤摘出術、

腹部大動脈人工血管置換術、血栓内膜摘除術、冠動脈・大動脈バイパス術、

心嚢ドレナージ、内シャント造設術など

表 5 インシデント件数 113 件/年

レベル0	レベル I	レベル II	レベル IIIa	レベル IIIb	レベル IV
3 件	39 件	61 件	8 件	2 件	0 件